

# 令和元年度 第5回津有区地域協議会

## 次 第

日時：令和元年8月29日（木）

午後6時30分～

会場：ファームセンター 農事研修室

1 開 会

2 会長挨拶

3 議 題

(1) 自主的審議事項

①視察研修

②地域アンケート

4 その他（次回の開催日程について）

5 閉 会

## 津有区地域協議会 視察研修の結果について

## ■視察結果

## ①えんじょるの（長野県佐久市）

## ○説明

- ・「えんじょるの」は、援助関係の構築による助け合いを目的としており、近所の助け合いの輪を「えんじょるの」を通じて広げている。
- ・2年前の経済産業省の発表では、世の中の買い物弱者対策の7割が赤字となっており、大手コンビニ等も宅配事業から撤退している。
- ・移動販売サービスの「とくし丸」も経営が厳しく、労働環境もかなり厳しい。
- ・これらの要因としては、配送コストや人件費などのランニングコストに対して利益が少ないため、採算に合わない。
- ・「えんじょるの」は、電話オペレーターが自動音声であり、配送に係る人件費が発生しないため、買い物代行サービスの弱点であるランニングコストがかからない。
- ・御代田町の隣である東御市では、デマンドタクシーを運行しているが、年間4,000万円の支出に対し、収入は500万円のため、赤字分の3,500円を市が補てんしている。
- ・「えんじょるの」の援助者（買い物を代行する人）は、ほとんどが有職者のため、配達が夜間になることが多いが、利用者（買い物を頼む人）はそれらを了承のうえ、依頼している。
- ・現在、試験運用の段階で利用者は4名、援助者は31名いる。
- ・援助者として登録している人は、出来る限り手助けしたい意識が高い人から、暇な時のみついでに援助するお気楽な人まで様々いる。
- ・しかし、登録者全員がお気楽な人では、システムが成り立たないため、1店舗あたり、5～10人程度は意識の高い登録者を確保できればマッチングがスムーズになると考えている。

- ・今後の「えんじょるの」の展開として、合同会社として法人化し、複数の自治体でサービスを展開していく。
- ・また、「えんじょるの」が認知され、定着してきたら買い物同行や通院同行といったサービスも展開していきたいと考えている。

#### ○質疑応答

- Q. 援助者登録することによって負担に感じる部分はあるか。  
A. 援助する、しないは本人の自由のため、登録したことによる負担はない。
- Q. 利用者が少ない原因はなにか。  
A. 高齢者にとって登録すること自体が支障となっており、周囲の家族やケアマネージャーが認知していれば良いが、高齢者自身の判断で登録することができないのが現状の課題となっている。
- Q. 登録者の男女の割合はどの程度か。  
A. 女性が7割程度であり、登録時の条件として買い物慣れしている必要がある。ただし、普段利用しているスーパーでの買い物するため、いつも買い物している人であれば商品の知識は問題ない。
- Q. 利用者はどのような環境の人か。  
A. 1人目は、家族と同居しているが日中は1人であり、家族のために料理をしたくしても買い物に行けない。利用するからと言って独居とは限らない。むしろ、独居の高齢者は買い物に困っていても登録が困難でサービスが利用できていない可能性もある。
- Q. 代行した後、商品を届けるのにどの程度の距離まで行くのか。  
A. 利用者は近所のスーパーを登録し、登録者も自身が普段利用しているスーパーを登録しているため、配達も帰り道に寄れるような場所のため、苦にはならない。

## ②坂城町役場（長野県坂城町）

### ○説明

- ・現在、交通計画の改訂期に入っており、今後、人口減少や高齢化を踏まえ、デマンド交通等の必要性も検証している。
- ・ただし、デマンド交通の場合、タクシー会社のようになってしまう、予約が殺到することが考えられるため、人員の確保やシステムの追加など、予算が多く必要となることが予想される。
- ・運行しているバスはマイクロバス（20人乗り）であり、道幅がそれほど広くないため、小回りの利くバスを使用している。
- ・巡回1周（1便分）に1時間20分程度要するが、時間短縮の要望が寄せられている。
- ・坂城町は数十年前に路線バスが廃止しており、循環バスのみとなっている。
- ・坂城町には大型病院がなく、隣市である上田市に通院している方も多くいるため、上田市までの路線を拡大している。
- ・循環バスの利用目的としては、町内に第3セクターの温浴施設があり、そちらへの利用が多い。
- ・福祉バスから循環バスに転用した影響のため、バス停が非常に多く、それが巡回に時間を要する原因となっている。
- ・しかし、1度設置したバス停を廃止することに反対の声が多く、坂城町としてもジレンマを抱えている。

### ○質疑応答

- Q. バス停の間隔が短く、バスのサイズ自体が大きいため、一般のドライバーから苦情はないのか。
- A. 苦情は受けたことがない。
- Q. 利用者の割合はどの程度か
- A. 高齢者に利用がほとんどであり、子どもの利用はほとんどない。1番上田市に近い地区の子ども達は小学校の通学に利用している。（無料）

## 津有区地域協議会 「若者の流出」 地域アンケート

津有区地域協議会では、地域の課題である「若者の流出」について、協議を進めています。

このアンケートは、地域の現状を把握するために、地域の皆さんの声を集め、今後の協議に活かしていくものです。

つきましては、お手数ですが、アンケートへのご協力をお願いいたします。

また、ご回答いただいた情報については、上記の目的以外では使用いたしません。

**津有区とは？****戸野目小学校区と上雲寺小学校区を合わせた地域の名称**

**問1** 津有区の好きなところを教えてください。(2つまで)

- 自然が豊か       混雑していない  
 治安がいい       食べ物がおいしい  
 その他 \_\_\_\_\_ (自由記述)

**問2** 津有区が好きになれないところを教えてください。(2つまで)

- 商業施設が少ない       公共交通が少ない  
 雪が降る       公共施設（集会所）が少ない  
 その他 \_\_\_\_\_ (自由記述)

**問3** 高校卒業後の進路希望を教えてください。

- 進学（大学・専門学校等）       就職       左記以外

**問4** **問3**で回答した進路について、現時点で希望する地域を教えてください。

- 上越市内       新潟県内（市内を除く）       新潟県外

**問5** **問4**で回答した地域について、その地域を選んだ理由を教えてください。

- 希望する進学先（就職先）があるから
- その地域に住みたい（住んでみたい）から
- 交通の利便性が良いから
- 商業施設が多い（発展している）から
- その他 \_\_\_\_\_（自由記述）

**問6** 将来、就職する場合にどの地域に就職を希望しますか。

- 上越市内
- 新潟県内（市内を除く）
- 新潟県外

**問7** **問6**で回答した地域に就職しようと思った理由を教えてください。

- 希望する進学先（就職先）があるから
- その地域に住みたい（住んでみたい）から
- 交通の利便性が良いから
- 商業施設が多い（発展している）から
- その他 \_\_\_\_\_（自由記述）

**問8** 最後に津有区がこんな町になってほしいなどのご意見がありましたら、  
お書きください。

\_\_\_\_\_（自由記述）

※何でも思っていること、思ったことをお書きください。

※特にない場合は記入不要です。

**以上で質問は終わりです。**

**ご協力ありがとうございました。**

## 津有地区 地域まちづくりアンケート(案)

回答時間：5分程度

## 1.あなたご自身のことについてお聞きします。

※記載している方を特定するようなことは行いませんので、安心してお答えください。

(1)あなたの性別はどちらですか。【〇は1つ】

- ① 男性                      ② 女性

(2)あなたのお住まいの地域はどちらですか。【〇は1つ】

- ① 津有北部地区（戸野目小学校区）      ② 津有南部地区（上雲寺小学校区）

(3)あなたの年齢は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- ① 19～29歳              ③ 30～39歳              ④ 40～49歳  
⑤ 50～59歳              ⑥ 60～69歳              ⑦ 70歳以上

(4)あなたの家族構成は、次のうちどれですか。【〇は1つ】

- ① 1人暮らし              ② 夫婦のみ              ③ 親子（2世代）  
④ 親・子・孫（3世代）      ⑤ その他（                      ）

(5)あなたが津有地域に住み始めた理由を教えてください。【該当するものすべてに〇】

- ① 実家が津有地域にあるから      ② 職場から近いから      ③ 学校が近いから  
④ 子育てがしやすいから              ⑤ 交通の便がよい土地だから  
⑥ 土地・家が安いから              ⑦ その他（                      ）【自由記述】

(6)あなたの津有地域での居住経歴を教えてください。【〇は1つ】

- ① 津有地域で生まれ、ずっと津有地域に住んでいる  
② 津有地域で生まれ、地域外に住んだ後、津有地域に戻ってきた  
③ 津有地域外で生まれ、津有地域に転入してきた





